

野の花館だより

2010/夏号 / No.56

みどりが目にまぶしい季節です。この緑の季節が一番素敵だと感じていいはずなのに...今、宮崎は畜産農家の口蹄疫の蔓延で非常事態宣言発令中なのです。初動行動(?)のミスがこんなに大きな影響を生み出すなんて誰にも分らなかったことなのでしょう。余りの悲惨さに茫然としております。

五月晴れの5月、まぶしくキラキラ輝く5月、希望が感じられる5月・・・???。早くそうなってほしいです。皆様にはお変わりございませんか?野の花館だよりを書きながら、畜産農家の方々のご苦勞をひしひしと感じています。野の花館は第11期総会を終え、その前には第16回野の花館まつりも終わって、新しい年の出発をスロ・なモ・ドで始めております。代表理事の心平さんから次の文が寄せられました。

木々の緑はいつもと変わらないはずなのに、今はすべてが曇って見えるような気がします。口蹄疫の発症から1ヶ月が過ぎました。至る所で消毒用の石灰が撒かれて、真っ白です。あらゆるイベントが中止され、街の中は灯が消えてしまっています。

野の花館は人が集ってこそ、生きる場所です。

いろいろの周りに、庭に、子どもも大人も集まって、互いの顔や姿を見て、初めて生き生きとする場です。

苦しんでいる時こそ互いに励まし合いたいものなのに、それができないのです。

少しでも早く収まって、互いの苦しみや悲しみを少しでも笑顔にすることのできる場として、再出発できるよう、秋にはふたたびいろいろを囲めるよう、願ってやみません。

そういえば、野の花館がやってきたのは土呂久からですね。土呂久では目に見えるもの(砒素)が人為的に撒き散らされたものではありませんでしたが、やはり抗いがたい災難が降ってきたのでした。なんとなく、それを思い浮かべています。

代表理事 伊藤心平



(ミール)ミニコンサート開催

ヴァイオリン&ピアノ・デュオ

ヴァイオリン(稲田竜斗) ピアノ(稲田由香里)

とき・2010年8月15日(日) 13:30開場 14:00開演

“平和” 参加費 大人 1,000円 子どもは無料

第34回全国高校総合文化祭宮崎大会

国際・ボランティア部門-野の花館コース

8月4日(水) 10:00-15:00 担当・妻高校

全国からの高校生が集まり、野の花館と土呂久、土呂久公害、冷や汁、世界の飲料水問題、バングラディッシュのヒ素汚染、異文化と国際協力などなど野の花館ならではの文化活動を体験します。

春の味覚や演奏堪能
野の花館まつりにぎわう 高 鍋

高鍋町北高鍋の「野の花館」で24日、恒例の野の花館まつりがあった。町内外から訪れた人たちでにぎわい、野草の天ぷらなど春の味覚を堪能しながら、和太鼓の演奏や人形劇などを楽しんだ。NPO法人野の花館主催。高千穂町から古民家を移設した野の花館について広く知らせてもらおうと、NPOスタッフやボランティアの協力で毎年この時期に行われている。

昼食では自然を身近に感じてもらうため、今年も近くで採れたヨモギやハコベ、柿の葉の天ぷら、煮しめなどを300円で提供。用意した分が完売する人気だった。地元

町内外の人たちでにぎわった野の花館まつり。バイオリン演奏などもあった

グループが和太鼓や人形劇を披露したほか、バイオリンやオカリナの演奏も。娘2人、母と訪れた同町上江の主婦、中村美美さん(34)は「本物の音楽に触れたり人形劇を見たりする機会はないので、いろいろな要素が詰まって親子で楽しめるのがいいですね」と満足そうだった。



人形劇「ひょうすんぼうの謀」さつき会
方言の味がぴったり…子どもたちも一生懸命観賞
和太鼓演奏(舞鶴一座・秋月鼓童)
若さあふれる太鼓演奏…地元の力が感じられる



オカリナ演奏 (浜砂和彦さん) 3年目の演奏
四季の歌、世界に一つだけの花、もののけ姫等数曲
ヴァイオリン&ピアノ演奏(ミール)
ハンガリー舞曲第7番、8番 オブリヴィオン など



フォークダンス（高鍋フォークダンス愛好会）

古いも若きも一緒になって楽しく踊りました。

子どもバンド（anuenue）

ハワイ語で“虹”という意味だそうです。



ギター、ピアノ、
ジャンベなどで楽しく
演奏・・・



おはなしふうせん

おはなし： 「地のはての井戸」間 妙子

「さるのいきぎも」佐藤和子、「大師みこし」米良京子

大型紙芝居：「なんにもせんにん」安田恵以子

「濱崎けい子・語りの世界」2人の会

「森のお店屋さん」「地球の子どもたちへ」など



鼓遊太鼓

エイサ-等にぎやかに踊っていただきました。

ブログ・いろいろ端 in 高鍋より

初めて『野の花館まつり』に行ってきました～。

そして、「野の花館」さんよりも先にブログアップ！

楽しかったんですもん！早く載せたいんですもん！！

館内で「読み聞かせや人形劇」があったり、外では「和太鼓やミニコンサートや子供バンド」などなど。

『次は外のステージです。外に出ましょう。』という声に、

『は～い。』と子供に混ざってはしゃぐ大人。それは私。

いや、むしろ、ステージには大人の方が聞き入っていましたね。

ご飯も美味しかったです！まさに「春を食べる」！

写真は、子供たちが活けた草花だそうです。素晴らしいっつ。

子供たちの笑い声のあふれる、とても幸せなひと時でした。



この行事には

平成22年度赤い羽根共同募金の助成をいただきました。

第11期野の花館定期総会・・・5月9日(日)

2010年5月10日春の連休最後の日曜日14時から野の花館能舞台において第11期総会が開かれました。総運営会員(29名)中、出席者11名委任状出席14名で定刻になり、司会者則松和恵が開会を宣し、本総会が定款所定数を満たしているのが有効に成立している由をつけ、議長の選任方法を諮った所、満場一致を持って伊藤心平氏が選任されました。続いて議長より挨拶の後、議案の審議に入りました。

1. 議事の経過の要領及び議案別決議の結果

議案1.平成21年度事業報告書及び収支決算報告書について事務局より説明があり議長は、これを議場に諮ったところ満場一致で異議なく可決決定しました。(別紙参照)

議案2.平成22年度事業計画書及び収支予算書についても同じく可決決定でした。(別紙参照)



今年度の助成事業

グリーンコープ福祉活動組合員基金・2010年度助成事業

野の花館・福祉医療施設への慰問コンサート(全5回)

H22年度芸術団体人材育成支援事業

地域の演劇指導者養成ワークショップ

H22年度赤い羽根共同募金助成事業

第16回野の花館まつり

秋10/23(土)野外劇団 楽市楽座 はじめての全国巡回公演!

鏡池物語・・・北は北海道から、南は沖縄まで野外劇の魅力をつたえます!

場所 全国31か所に野外円形劇場を設営

料金 入場無料・投げ銭(観劇後にお気持ちをいただきます)

子どもも大人もお年寄りも笑って泣ける、不思議な現代神楽劇!

屋根なし壁なしの円形劇場 池をこしらえ 月を浮かべて グルリグルリとまわします 金魚やへびや虫たちが 唄って踊って 生演奏

生きものたちの イノチのおまつり・・・

おたのしみに!

育児だより

* 伊藤兄弟 *

伊藤 美穂子

3月の末、綾町に引っ越した。山や川、小・中学校にも近く、住みやすいかなと思い決断した。綾町では、5月中旬からホタルがとびはじめる。家の庭にもやってきた。夜、家族で散歩したら、用水路のあるところを中心にスーっととんでいるのを見ることができてうれしかった。朝、とりこみわすれていた洗たく物を畳んでいると、あわててとびだしてきた虫がいた。よく見たら…ホタルだった。今年は雨の日が多いせいかまとまった数がとんでいるのは見ないけれど、かえって風情があっていいかなあ、と思う。

夏勢は綾小に転校した。親の心配をよそに、日々小学生生活をエンジョイしているようだ。問題は友樹。4月からこちら咳、熱、etc...で健康な日のほうが少ないくらい。ぼちぼち綾の気候に慣れていくほかないかなあ、と思う。



* かんきつ姉弟 *

金丸 智子

伊藤兄弟とかんきつ姉弟(5/10野の花館で)

新学期も約2ヶ月すぎ、学校生活もずいぶん落ち着いてきた。ちいは休むこともなく、毎日楽しそうに通学している。上二人は学習に取り組む習慣をきちんと身につけさせることができなかつたので、今度こそ！とは思っているのだけれど、夕方遅くに帰宅する毎日なので、早くも挫折しそうである。もちろん母が・・・。

学生3人が7:30までにいなくなる為、朔は毎朝なんとも心もとない顔で起きてくる。静かなリビングで、家を出るまで黙々と遊ぶ朔。まあ淋しそうではあるのだがよ～く見ると、千夏のおもちゃを(しかも誕生日にもらった新しいの)しっかり使っていたりする!!なんとまあ、ずうずうしいこと・・・。普段からゴネて、ちいのを横取りしているというのに、この上又!!これぞ、未っ子のあるべき姿かもしれない。ごめんね、ちい。あんたが一番損してるかもねえ。

長男は、あのイライラした中学生から脱皮して、話し兄貴になった。ちいもよくおんぶしてもらっている。先日は、日々の状況から不安になったのか、意欲ある言葉が出て、将来の有り方に着実に歩を進めている、頑張り!一方長女は反抗期まっさかり。いわゆる中二病らしい。それでもしゃべってくるだけマシなのかも。まあ、楽しくすごせる、それだけありがたいと思う日々である。

事務局日誌より

- 3/16(火)19:00～いろいろ端会(NHK取材)
- 3/26(木)19:00～3月定例会
- 4/11(日)9:00～14:00 庭整備作業
- 4/14(火)会計監査
- 4/16(金)19:00～理事会 20:00～4月定例会
- 4/20(火)いろいろ端会
- 4/24(土)第16回野の花館まつり・春を食べる会
- 4/27(火)いろいろ端会
- 4/29(祝)第34回高文祭打ち合わせ
- 5/9(日)14:00～10年度定期総会・5月定例会
- 5/18(火)19:00～いろいろ端会

これからの予定

- 6/6(日)いろいろ端コンサート中止
- 6/11(金)19:00～6月定例会
- 7/2(金)15:00～高文祭事前打ち合わせ
- 7/20(火)19:00～いろいろ端会
- 7/24or25(土) 高文祭りハ・サル
- 8/15(終戦記念日)平和を考える集い10
第22回 ミールミニコンサート

宮崎県知事口蹄疫による非常事態宣言発令

5/30(日)ミールミニコンサート中止

野菜の出荷と販売、配達を中止してから2週間が経ちます。車での移動で、口蹄疫のウイルスを運んだり、もって帰ったりしないためです。畑では、ソラマメ・グリーンピース・スナックエンドウ・ルッコラ・ほうれんそう…等が収穫時期を逸して硬くなったり トウ立ちしたり。野菜による収入はストップ…牛と豚の畜産農家さんと同じ状況です。けれど、この辛い状況の中、ブログのコメントで、また ファックスやハガキ、電話でたくさんの方から励ましの言葉をいただきました。本当にありがとうございます!!!「私たちは独りじゃないんだ」そう思って毎日を過ごす事が出来ました。『野菜の配達が無理なら、取りに行くよ』『野菜 待ってるから…』そんな言葉もかけてもらいたまう、感謝感謝…です。「もう少ししたら、また野菜もって行きます!」そう答えました。

でも、その前に、考えたくもない事が、これが、現実、間もなく我が家にも訪れること。強い風の吹いた日、近所で養豚農家さんの…。(感染はしていなくても、自主的に始めたそうです)豚さんの声がずっと聞こえました。次の日も、肥育農家さんも…。役場から来られて、土地の確認や、隣接地の場合の同意の件、穴の掘り方、色々聞かされました。夫は田んぼに行ってたので 私ひとりでした。「もう、吐きそう 倒れそう」と思いながら聞きました。聞かなければならないこと、知らなければならぬことです。今、カラスがいらないでしょ?あ、そう言えばいませんねみんな、川南に行ってるようです。(覚悟せよ…ということか?) ゆうべ、久しぶりにブリューゲルの絵をみました。と言っても画集なんて持ってませんが、我が家の本棚の「野間 宏集」の巻頭に『狂女(悪女)フリート』と言うタイトルの絵が載っているのです。



「絵は自分が感じたものをそのまま受け入れればいっちゃん」と長女や次女が言ってたので、研究者のような分析はできなくても、絵画に無知な私でも何かを感じていいかもしれない。ブリューゲルの絵を見るたび(ああ…)苦しく哀しくなる。フリートは狂ってなんかいない。狂った世界で懸命に普通に生きようとしているように見える。でも、赤い雨に飲み込まれるのも時間の問題かも。フリートは牛かもしれない。私かもしれない。私は、奇怪な生き物かもしれない。..牛たちの顔がまともに見れません。



野の花館へのご支援感謝します!

2010年度分会費、寄附金をよせてくださったみなさまです。

(10.3.1.~10.5.31.受け入れの方々)[順不同、敬称は省略させていただきました]

池田育子、井手泰子、伊藤ミユキ、稲田千穂子、稲田由香里、稲田竜斗、岩切三代子、岡田心平、岡山勇
柿田安岐子、勝山袈人、川野恭司、川原一之、岸本桂子、北川義男、木下昌子、黒木えり子、黒木至美
黒沢康子、國生美南子、小島外一郎・光子、小森邦子、佐賀百合子、佐藤慎市、佐藤登貴子、佐藤亮、里見照子
去川笙子、杉谷洋子、杉田良子、S.プライアン、曾我恭子、多賀学英、高橋裕子、高畑保、高山修二、竹嶋寛、道代
田村健、田村直美、田村光弘、千竈八重子、遠田辰芳、十住ミツ子、友成昌亮、永岡まつ子、長友早苗、納富俊郎
野田直子、野津手内科医院、野原親志、野村健一、則松和恵、則松節男、間妙子、蓮野勇、濱崎恵子、浜砂和彦
林真美、日野原義文、平川智美、藤田規子、藤原慶子、前弘之、前良子、松丸まき子、松本和育、水野亮、山内洋子

早々に会費寄附金をありがとうございました。

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 2664

ご意見ご感想ご質問などお寄せください。

phone & fax;0983-23-0701

宛先: 特定非営利活動法人 野の花館